

歴史を歩く 59

おおさきの歴史を旅してみませんか②⑤
 〳未知なる歴史が探究心をかき立てる地域(永吉地区)〳①

大字・永吉は、町内で2番目の広さがあり、そこで育まれた歴史や文化をひとくくりするのは、難しい地域です。上永吉から下永吉にかけて各時代を通じ、高山・串良と志布志をつなぐ交通の要所としての役割を担ってきました。

中世は、肝付氏・島津氏といった武将たちの攻防の地、近世は垂水島津の持切在(直轄地)でありましたが、その詳細は明らかではありません。郷土の歴史を解明する上で、とても重要な地域といえます。



1 ひこさんしょだいごんげん 彦三所大権現 (彦山神社)

創建は不明。

再興の棟札に天文4年(1535年)とある。

ご神体について、大崎名勝誌には『中尊は釈迦、左は観世音、右は阿弥陀』と記されている。



2 田の神

稲の成長を守り、豊作をもたらす農神。

昭和8年(1933年)1月、耕地整理記念に据えられた。

頭にかぶる大きなシキが特徴的である。



3 はやまどん

はやまどんは、牛馬の神・集落の守り神として信仰されている。

はやまどん信仰は、鹿兒島地方独特のものと言われている。

